

製品名: LDOC1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13272**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用**希釈倍率** IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:10000**分子量****抗原情報**

遺伝子名	LDOC1
別名	LDOC1; BCUR1; Protein LDOC1; Leucine zipper protein down-regulated in cancer cells
遺伝子 ID	23641.0
SwissProt ID	O95751
免疫原	抗血清はヒト LDOC1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

背景

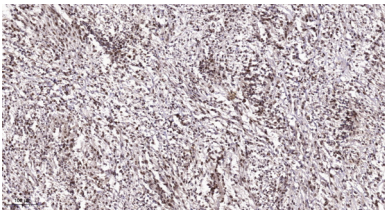
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、ロイシンジッパー様モチーフと、SH3 結合ドメインと顕著な類似性を示すプロリンリッチ領域を含む。このタンパク質は核に局在し、一部の癌細胞株では発現が低下している。核因子 κB (NF-κB) を介した転写応答

を制御すると考えられている。この遺伝子は、そのタンパク質産物が一部の癌の発生および / または進行に重要な役割を果たす可能性のある腫瘍抑制遺伝子として提案されている。[RefSeq 提供、2008 年 7 月],機能: 一部の癌の発生および / または進行に重要な役割を果たす可能性がある。類似性: LDOC1 ファミリーに属する。組織特異性: 脳および甲状腺で高レベルで普遍的に発現し、胎盤、肝臓、白血球では低レベルで発現している。検討した 7 つのヒト乳癌細胞株のうち 6 つでも同様に発現していた。 ,

研究分野

-

画像データ



パラフィン包埋ヒト大腸癌の免疫組織化学分析。1、抗体を 1:200 に希釈した (4°Cで一晩)。2、抗原賦活化には Tris-EDTA、pH9.0 を使用した。3、二次抗体を 1:200 に希釈した (室温、45 分)。